



公立夜間中学校の検討状況について

1 夜間中学校設置検討の背景

○国の動向

- ・教育機会確保法
- ・令和3年1月衆議院予算委員会 菅総理大臣答弁
「5年間で全ての都道府県・指定都市に設置を目指す」

○他都市の動向

- ・15都道府県34市区に40校が設置
- ・指定都市では20市中10市に15校が設置
令和5年度以降も設置に向けた検討が続いている（仙台市・千葉市ほか）

2 本市における夜間中学校設置の必要性

○自主夜間学級の活動

- ・穴生・中学校「夜間学級」（平成6年～ 青春学校として開設）
- ・城南中学校「夜間学級」（平成10年～ よみかき教室・城野として開設）
- ・北九州市「夜間学級運営支援事業」（平成17年～継続中）

○令和3年度アンケート調査結果

- ・公立夜間中学での勉強に関心がある方を対象とし、598件の回答
うち「自分が学びたい 165件」
- ・比較的若い世代（40歳未満・中学既卒）の「学び直しニーズ」が高い

○令和2年度国勢調査結果

- ・未就学者： 1, 131人
- ・最終卒業学校が小学校の者： 4, 547人
- ・隣接する17市町と下関市を合わせると本市と同規模の未就学者等が在住

3 夜間中学校に関するあり方検討の経緯

○北九州市公立夜間中学校を考える会議（令和4年5月～8月）

- ・第一回 「あるべき姿」について意見交換
- ・第二回 「あるべき姿」の意見整理、校舎位置・施設のあり方
- ・第三回 基本計画（素案）について意見交換

4 夜間中学校設置の基本計画（素案）

- (1) 設置主体 北九州市
- (2) 開設時期 令和6年4月を目指す
- (3) 校舎位置 北九州市立菊陵中学校（小倉北区下富野1-2-1）内に設置
- (4) 入学対象者 北九州市在住（国籍は問わない）
学齢期を過ぎた人で夜間中学の学びを希望する人
（以下は引き続き検討する）
 - ①北九州市と連携する自治体に在住している人
 - ②不登校等により、夜間中学での学びを希望する学齢期生徒※②の実現には、不登校特例校への指定が必要
- (5) 規模 開校時は30人程度（各学年10人程度）を想定
定員は設けないが、施設整備の間、お待ちいただく場合あり
- (6) 授業方法 対面を基本とするが、ICT端末でのオンライン授業も実施
平日5日間、1日4コマの授業を実施
- (7) 費用負担 授業料は無料とし、教科書も無償で配布
学用品や学校行事などにかかる実費は自己負担
- (8) 進級 面談の上、本人の意向を踏まえ校長が判断
- (9) 修業年限 原則は3年 1年ごとの延長可 上限年数は今後の検討
- (10) 日本語指導 日本語での教科学習のため、日本語指導を行う
- (11) 就学支援 就学援助に類する制度新設に向け検討を進める
- (12) 通学方法 公共交通機関を利用したの通学を基本とする
- (13) 学校給食 多様な生徒が対象となるため開校時点では実施しない
生徒の要望等を聞き、引き続き検討する
- (14) 学校行事 昼間部と同様に、できるだけ工夫して実施する

5 夜間中学校開校に向けた今後の取組（予定）

- ・基本計画（素案）に対するパブリックコメントの実施
- ・令和4年度内に基本計画を確定し、令和5年度中の整備計画を策定
- ・関係機関（福岡県・連携自治体ほか）との協議
- ・設置条例改正
- ・教職員配置・教育課程等の検討
- ・広報活動（シンポジウム等） ・授業体験会
- ・生徒募集

